

# フォーティーズ便り

発行:横濱フォーティーズ野球倶楽部  
報道部編集

http://www.office-thank.com/~forties/

## 特集 第39回寿野球全国大会 平成26年5月11日 長野県千曲市・坂城市



何故だか超ご機嫌



今年はバックネット前で記念撮影

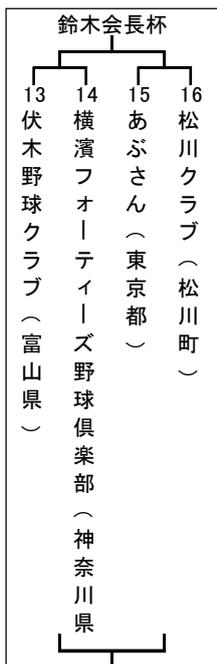


39回目の寿野球が始まります

優勝チームを中心に準優勝チーム+αと役員を合わせ14名の編成となる。ドタキャン等でドタバタしたが、なんとかメンバーを揃えて大会に臨む。今回拙記者は通院の関係で一人だけ新幹線に乗っての参加となった。バスに比べると新幹線の早いこと！あつという間に長野に着いた。宿に着いたら皆ベロベロになっているだろうと思いきや、意外にしゃんとしているのに少し驚いたが、それだけ今回の大会に賭ける気持ちが入っているようであった。バスの中で石川誠選手の爆弾発現は「今回俺は有名になりに来た。横浜に凄い奴がいると思わせたい！」とのこと。具体的な数値目標としては「ホームランはともかく、何しろ3打点は挙げる！」と心強い宣言。すると同じく補強組の中路選手から「俺はその1つ上に行く！」と宣言。極めつけは今回が寿野球での初監督となる吉田信監督が、宴会の始まりの挨拶で「負けたら横浜に帰りません！」と爆弾(馬鹿談?)発言。明日の先発が石川伸主将から発表され、いよいよ気分も盛り上がってきた。

翌朝朝食を済ませ、さあバスにと宿の前に出ると何だか見たことのある人が車の横に立っている!?なんと福島選手が息子さんがこの辺りに在住だということで、そこを訪問がてら大会の応援にと駆けつけたとのこと。いつも当てにしていた小林一前会長の車が今年は無かったので、早速バッテリーの送迎をお願いした。ここまで順調であったのだが、さあ開会式といったトコで大変なことに気付いたのである。倶楽部の旗だと思って持ってきたのは、なんとリーグ戦の優勝旗!?すったもんだあったが、結局今回は旗無し行進に臨むことに。なんとなく暗雲が・・・と思ったのは穿った見過ぎか。今年もあぶさん:水島先生のチームが参加しており、同じブロックということで結果によっては対戦もある。

前回のブロック優勝により、いよいよ上から4つ目のブロック:鈴木会長杯にチャレンジすることができる。この位置で優勝すれば最上の会長杯に手が届くとこまで来た。何としてでも勝利を掴みたい、各自そう誓って戦いの場に臨んだ。



倶楽部の旗が無いのが少し間抜けですね

- 遠征参加メンバー○●
- |          |          |
|----------|----------|
| 会長 丸山 正蔵 | 運長 伊藤 慎悟 |
| 報道 高須賀 隆 | 監督 吉田 信晴 |
| 主将 石川 伸哉 | 磯 典夫     |
| 渡部 知己    | 井上 準人    |
| 高橋 鉄二    | 近藤 正浩    |
| 石川 誠     | 松尾 大     |
| 中路 恵     | 四方田 信和   |
- 以上14名

大西緑地グラウンド(晴れ)

**第1試合【鈴木会長杯1回戦】**  
**伏木 エラーと連打で鮮やか猛攻**  
**初回で試合を決める**

	(2)	(0)	(0)	(0)	(2)	(2)	計	安打
横濱フォーテース	1	0	0	0	0	1	2	(6)
伏木野球クラブ	6	0	1	0	0	X	7	(6)
(富山県)	(5)	(0)	(0)	(0)	(1)			

**勝** 伊沢 **敗** 高橋

MVP: V打:  
 二塁打: 平沢・野村(伏見)

伏木					横濱						
守	氏名	打数	安打	打点	盗塁	守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
①	6 黒田	2	1			①	8 磯	3	1		1
②	5 寺嶋	3				②	6 石川伸	3	1		
③	1 伊沢	3	1			③	5 石川誠	3			
④	8 平沢	3	1	1		④	DH 吉田信	3	2	2	
⑤	9 酒井	3				⑤	3 中路	2			
⑥	2 野村	2	1		1	⑥	2 井上	1			
⑦	7 二口	3	1	2	1	⑦	4 渡部	2	1		
⑧	4 本江	2	1		1	⑧	9 四方田	2	1		
⑨	3 杉本	2				⑨	1 高橋鉄	1			
							PH 伊藤慎	1			
						⑩	7 松尾	2			
	チーム計	23	6	3	3		チーム計	23	6	2	1

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	三振	四球	失点	投手	回数	安打	三振	四球	失点
伊沢	3	2	5	2	1	高橋	2	5	0	2	6
寺嶋	3	4	0	2	1	石川誠	3	1	0	1	1
チーム計	6	6	5	4	2	チーム計	5	6	0	3	7



毎度お馴染みの酔っ払い集合です。この時はこんな結果になるとは思いもよらず・・・

**第2試合【鈴木会長杯敗者復活戦】**  
**石川誠 3回自責点10**  
**打っても前戦と合わせ6タコ**

	(2)	(3)	(4)	(0)	(1)	計	安打
あぶさん	2	5	5	0	0	12	(10)
横濱フォーテース	0	2	0	0	0	2	(6)
	(0)	(2)	(1)	(1)	(2)		

**勝** 宮野 **敗** 石川誠

MVP: V打: 本領  
 二塁打: 坂口(あぶ)

横濱					あぶさん						
守	氏名	打数	安打	打点	盗塁	守	氏名	打数	安打	打点	盗塁
①	8 磯	2	1			①	7 原	3	3	4	1
②	3 石川伸	3	1			②	6 坂口	2	1	1	
③	1 石川誠	3				③	8 本領	4	2	1	1
④	DH 吉田信	2	1			④	DH 池田	3	1	1	
⑤	3 中路	1				⑤	3 石井	2			
⑥	2 井上	2	2	1		⑥	2 高橋	2			
⑦	7 四方田	1					宇田川	1			
	PH 伊藤慎	1				⑦	9 山崎	3	2		
⑧	9 近藤	1				⑧	4 井上	2	1	2	
⑨	高橋	1					伊東				
⑩	4 渡部	2	1	1			柿沢	1			
⑪	5 松尾	2	1			⑨	5 坂崎	1			
							水嶋				
							飯島	1			
	チーム計	21	7	2	0		チーム計	25	10	9	2

※守備位置はスタート時

投手	回数	安打	三振	四球	失点	投手	回数	安打	三振	四球	失点
石川誠	3	9	2	5	12	宮野	2	2		1	2
高橋	2	1		0	0	飯島	3	4	1	1	
チーム計	5	10	2	5	12	チーム計	5	6	1	2	2



僕、タコ六で～す  
 よろしくお願いま～す

初回磯の鮮やかな中前安打で幕開けした。これはいけるぞと思ったのも束の間、石川伸・石川誠が連続三振と嫌な雰囲気。しかし吉田信の珍しい右前適時打で先取点をあげる。その裏投前のボテボテ内野安打を皮切りに、三塁と一塁のダブルエラーでまず同点。更に内野安打と右翼線二塁打とあつという間に2点を追加する。一死を挟み死球、内野安打、中前と盗塁を絡めた攻撃で一挙3点、都合6点を取られる。2回は3者凡退と高橋が立ち直っただけに、惜しまれる初回であった。横濱はその後2～4回を3人ずつと完璧に抑えられた。3回裏伏木6番が遊撃石川伸のエラーで出塁、続く7番のあたりは遊撃前の大きなバウンド、これを石川伸が目測を誤り万歳の形で中前へ。更に驚いた磯が後ろにそらし、一塁走者が長駆ホームイン。結果的にこれが駄目押しとなった。5回横濱は四死球と内野安打での満塁も、後続が倒れ得点ならず。6回に石川伸の中前安打、石川誠の内野ゴロで二進、吉田信のこの日2本目の適時打でやっと反撃するが、中路が打ち取られゲームセット。初回のドタバタで取られた6点で試合が決まってしまった感があり、力負けはしていなかっただけに残念である。  
 (報道: 高須賀)

緒戦と投手順を入れ替えて臨んだ敗者復活戦。来年の落ち方を考えると1つは勝っておきたい所、有名なあぶさんとの対戦で力も入る。初回四球、バント、適時打とあっさり先取点を許す。更に安打とエラーで2点目を与える。続く2回1死後左前への当りを万歳して後ろに逸らし一挙に三塁まで進塁される。続く打者を野選で生かし、追加点を取られると何が狂いだす。四球を出しては適時打のパターンで5点を追加される。その裏なんとかしたいと吉田信監督自ら右前安打で出ると、続く中路は四球、ここで井上が鮮やかにレフト前へ打ち返し、吉田信監督が全力で本塁生還。四方田の犠牲邪飛での二・三塁で渡部が左前適時打で2点目。そしてなおも一・三塁と徐々に盛り上がりを見せる。あぶさんの捕手の肩は素晴らしいものがあり、とても走れそうもないと思ったが、渡部勝負に出る盗塁。もの凄い送球で完全なアウトとなり、折角の盛り上がりが萎んでしまった。2点を取ったのも束の間、続く3回は2死を取った後の6連打で一挙5点を与えてしまう。結果として石川誠は9安打自責10点と大きく崩れ、その後を投げた高橋鉄が1安打無失点と好投し明暗が分かれた。有名になるはずだった石川誠選手は結果にちなんで登録名を「タコ六」と改めることになったとか・・・。  
 (報道: 高須賀)